

三小だより

新潟市立新津第三小学校

NO. 3

令和5年7月14日(金)

「一歩ずつ目標に向かうことを楽しむ力」

校長

以前にも書きましたが、私は山登りが好きで時間がある時には近隣の山々へ登っています。友人に山登りの何が楽しいかと問われ、改めて考えてみると、頂上で見える景色だったり山道の草花であったりと楽しみはいろいろあります。その中でも、頂上を目指して一歩ずつ登っていくと時間は掛かってもいつかは必ず頂上に着くという楽しさがあると感じています。頂上に向かう過程で、3合目まで来た、8合目まで来た、もうすぐだと思えると楽しくなってきます。おかしい話かもしれませんが、頂上という目標があって、それに向かって一歩ずつ登っていくと確実に頂上に近付き、それが〇合目という立て札で確認できると楽しくなってしまうのです。そして、最後に頂上に着いたときの達成感はとても気持ちの良いものです。

思い起こしてみると、こうした気持ちは小学校の時に培われたように思います。漢字や計算ドリルを1ページずつやり最後に全てやり終えた時、ノートを1冊書き終えた時、マラソンカードのシールを全て貼り終えた時などなど、夏休みに書いた絵日記などなど、小学校では1つずつ課題を積み重ねて何かを達成する活動がたくさんありました。そんな活動を通じて、様々なものを達成できた楽しさを味わえたことが「一歩ずつ目標に向かう楽しさ」につながってきたと感じています。きっとこの気持ちが、何か課題を成し遂げようとする時に大きな力になっているのだと今更ながら実感しています。



三小の子ども達にも同じように「一歩ずつ目標に向かう楽しさ」を味わってほしいと願っています。そして、その気持ちを自分の力として身に付けてくれたらと願っています。そのためにも、年度の節目、学期の節目、毎月の節目、いろいろな節目を迎えた時にどんな頂上を目指すか考え、新たなめあてを決めて、それに向かって一歩ずつ歩む姿に期待しています。また、夏休みのような長期間の休みにも、自分なりの目標を立てることができます。もちろんそんなに高くなくても、自分の力に合わせたもので十分です。そして、目標に近付いていく子ども達の様子を見ながら、励ましの言葉を掛けていただければと願っています。その励ましの言葉がなお一層、一人一人の子どもたちの「一歩ずつ目標に向かう楽しむ力」になっていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

自分の考えを『深める』ことについて

研究主任

昨年度は、学習内容に対して自分の考えをもち、表出させること(以下『アウトプット』)に焦点を絞り、職員の授業力の向上を目指しました。その結果、学校評価アンケート等で児童のアウトプットに対する意識に向上が見られました。今年度はそこから一歩踏み込み、アウトプットした意見同士を交流させることで、学習を深めて欲しいと考え、研究主題を「主体的に学び、自分の考えを表現し深める子どもの育成」として職員が一丸となり授業力の向上に努めています。

タブレット端末などのICTが導入されたことで、アウトプットや考えを深めることの形態はより多様になりました。ICT機器の通信機能を使って自分の考えを発信したり、友達の考えを知って自分の考えに取り入れたりすることなどは、令和の子どもならではの学習方法と言えるでしょう。三小では『学習を深める』ことについて、児童にあった支援策を講じたり、表現の場を工夫したりすることで、目標に近付けようとしています。

また上記の他に、以下の3点を今年度も引き続き取り組んでいます。

1 学習の約束の定着・学習用具の準備

Iプロジェクト(第一中学校区の小中3校での合同事業)に則り、「学習の約束」(最低限の学習規律4項目)を掲げ、学校全体で取り組んでいます。

2 校内研修による教師の授業力向上

前述した子どもたちが自分の考えを『アウトプット』することを目指し、学年内で教師が互いの授業を見合って、改善を図るなど、全職員がチームとなって授業力向上に取り組めます。

3 家庭学習の重視

家庭学習は、学習習慣や学習内容を身に付けるためにとても大切です。



自律性と社会性を育むために ～生活部の取組～

生活指導主任

新津第三小学校では、自立を促す生活指導の推進に向け、次のような取組をすすめています。

①子どもに寄り添う支援

子どもたちの日常生活に目を配り、表情や言葉遣い、服装、持ち物などから、小さなサインを見逃さないように心掛けています。また、年に3回「自分のことアンケート」を実施し、子どもたちの困っていることを把握したり、教育相談で子どもたちの声に耳を傾ける機会を設けたりして、児童理解に努めています。これらの取組によって見えてきた個々の実態をもとに、一人一人に寄り添った支援を行っています。

②学級力の育成

安心できる学級、互いに高め合う学級を目指し、学級力(自分たちでよりよい学級を作り出す力)の育成に努めます。そのため、「わたしたちの学級アンケート」を実施し、その結果から、よりよい学級にするための手立てを学級のみんなで考え、実践していきます。今年度も第1回目を5月に実施しました。計画的に学級の実態を見直し、話し合う機会を設けることで、支持的な学級をつくっていきます。



③縦割り班活動の充実

縦割り班活動は、上学年にとっては下学年をまとめたりお世話をしたりすること、下学年にとっては上学年をお手本とすることにより、互いに相乗効果が生まれるととても有意義な活動です。縦割り班活動では、1～6年生までの全学年が入るように編成した縦割り班で、日々の清掃活動を行います。また、高学年がリーダーシップをとり、声を掛け合いながら協力したり、縦割り班での遊び活動を行ったりします。